

# 3-5 花粉流通体制の検討

担当機関：鳥取大学農学部、永嶺農園

## 目標

花粉ビジネスが開発された際の円滑な流通体制を構築するため、経営試算の算出と問題点の抽出を行う。

## 材料および方法

### <1.ビジネスモデルの検討と経営試算の算出>

花粉の生産と流通を行う従事者の候補を選定し、花粉生産者の経営試算を算出する。

### <2.花粉採取専用園地の現地実証>

山口県美祢市の永嶺農園にて、花粉採取専用園の栽植を行い問題点の抽出を行う。

## 結果および考察

### <1.ビジネスモデルの検討と経営試算の算出>

#### (ナシ) 想定する経営形態、経営規模、必要機械および経営試算

##### 【経営形態】

労力 2人  
通常管理時間 15.5時間/年 (/1人)  
花蕾採取時間 3.35時間/年 (/1人)

##### 【経営規模等】

低樹高ジョイント仕立て「松島」10a  
純花粉単価：1,000円/gで計算

##### 【必要機械】 ※減価償却費として計算

手持ち式花蕾採取機  
(販売価格10万円(想定) × 2台を10年間で減価償却すると仮定)

##### 【留意点】

経営費のうち、苗木代、資材費、地代、修繕費、販売時運賃等は含まない。

### <2.花粉採取専用園地の現地実証>

#### (問題点)

- ・ 初期投資（圃場整備費、資材費、苗木代）が掛かる。
- ・ 補助金の申請に手間と時間を要する。
- ・ 補助金の使える用途が極めて限定的である。



写真1. 花粉採取園植栽図



写真2. 長十郎(令和2年度栽植)  
樹高90cm 樹間1.5m



写真3. 全体図(令和2年度栽植)



写真4. 栽植予定品種の苗木

表1. 経営試算(ナシ)

項目	定植後年数					
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
花粉収量 (g)	47.8	238.0	345.0	391.5	391.5	
売上(円)	47,800	238,000	345,000	391,500	391,500	
費用	花粉の売上高(松島)	47,800	238,000	345,000	391,500	391,500
	肥料・農薬	1,955	1,955	1,955	1,955	1,955
	光熱動力費・物件税公課諸負担	5,442	19,135	20,040	20,040	20,040
	機械の減価償却費(手持ち式)	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	通常管理費(1000円×労働時間(31時間))	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000
労働費(花粉採取)(1000円×労働時間(3.35時間))	818	4,073	5,904	6,700	6,700	
費用合計	59,215	76,163	78,899	79,695	79,695	
所得(面積あたり)	-	-	-	-	-	
	-11,415	161,837	266,101	311,805	311,805	

表2. 経営試算(スモモ)

項目	定植後年数	
	4年目	5年目
花粉収量 (g)	100.6	285.0
売上(円)	171,020	484,500
費用	花粉の売上高(ハリウッド)	171,020
	肥料・農薬	1,955
	光熱動力費・物件税公課諸負担	20,040
	機械の減価償却費(手持ち式)	20,000
	通常管理費(1000円×労働時間(31時間))	31,000
労働費(花粉採取)(1000円×労働時間(3.35時間))	6,700	
費用合計	79,695	
所得(面積あたり)	91,325	

表3. 経営試算(キウイ)

項目	定植後年数					
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
純花粉量(g)	0	316	676	1,099	1,700	2,301
粗収益(A)千円	0	431	923	1,500	2,321	3,141
経営費 千円	資材・雇用費等	192	193	312	402	531
	減価償却費	664	846	846	911	975
	合計(B)	856	1,039	1,158	1,313	1,506
農業所得(C)(A-B)千円	▲856	▲608	▲235	187	815	1,442
所得率(C/A)%	-	-	-	12	35	46

## 成果の要約

### <花粉採取専用園における経営モデル> (10a当たりの純利益(定植5年後))

ナシ : 311,805円 (純花粉: 1,000円/gで計算)  
スモモ : 404,805円 (純花粉: 1,700円/gで計算)  
キウイ : 815,000円 (純花粉: 1,375円/gで計算)